

小美玉市の文化・芸術 総合情報誌

おみた *m*agazine

OMITA MAGAZINE

小美玉市の文化・芸術 総合情報誌 おみた magazine 第188号

〒319-0132 茨城県小美玉市部室1069 TEL.. 0299-484466
【企画・取材】みのんば編集局(四季文化館みののれ内)
【編集・発行】小美玉市文化芸術課 令和7年9月25日発行

小美玉文化情報
日々発信中！
アピオス
みののれ
コスモス
f f
@ @
@ @

アートと交わる
わたしがひかる

撮影：赤上 恵
モデル：太田 玲美、大河原 百花



■ 編集後記

厳しい暑さがつづいています。この様子だと暑さはまだしばらく続きそうな感じです。『暑さ寒さも彼岸まで』というように、乗り越えればきっと涼しくなるといつつ、いつまで「猛」がつく暑さがつづくのか…。暑さも「もう」そろそろになって、和らぎの秋風を感じたいものです。(坂本 剛)

■ みのんば編集局

編集長 藤田 佐知子
記者 遠藤 雅暉、加藤 篤子、瀧澤 比佐乃、福島 ヤヨヒ
保田 孝雄
カメラマン 赤上 恵、大山 進、齋藤 翔、齋藤 友幸、橋本 笑優
■ アートディレクター／デザイナー 清水 すず菜 (つばめ座)



令和8年3月27日に、
小美玉市は
市制施行20周年を
迎えます。

特集

取材：藤田 佐知子 撮影：赤上 恵

田川 めぐみ
Megumi Tagawa

立原 裕之
Hiroyuki Tachihara

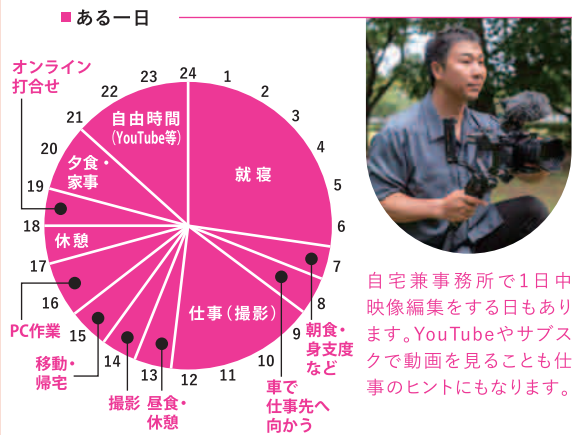
浅野 壬袈
Mika Asano

映像クリエイター
立原 裕之

制作実績

- 全国広報コンクール映像部門 特選 総務大臣賞
- ニッポンものづくりフィルムアワード2024 準グランプリ ほか

小美玉市在住。地元で小・中・高を卒業後、東京工芸大学映像学科を卒業。茨城県の制作会社で経験を積み独立。2010年にリンクムービースタジオを開業し、現在は屋号をLINKとして、自治体や企業のプロモーション映像を制作。



私を動かした、あの日の出来事

浅野 体調を崩して家にいた頃、知人の「絵はがきでも描いてみたら?」という一言が人生を変えました。子どもの頃から好きだった絵や音楽の仕事をすることを諦めていましたが、その一言がきっかけで始めた筆文字アートが、今までの18年間にわたる多様な活動につながっています。

立原 高校時代に観た一本の映画に衝撃を受けました。「作り手によってこんなに変わるのか」と、映像が心に深く染み入り、その感動が数日間も続きました。その後、東京工芸大学で映像を学び、映像会社に就職。30歳を前に独立し、今年で15年になります。自治体や企業などのプロモーション映像の仕事が多いですが、最近はSNSを意識した縦動画作りや、動画制作の講師をやることもあります。

田川 エレクトーン教室の「自分で曲を作ろう」というカリキュラムが最初

のきっかけです。文化祭や卒業式でクラスの友達が自分の曲を歌ってくれた経験が忘れられない喜びとなり、作曲家としての原点となりました。

スイッチは、日常のなかにある

浅野 オリジナル作品制作の際は、内から湧き出るイメージを大切にしています。一方、クライアントワークは納期があるので時間を決めて進めます。創作の源となるのは、霞ヶ浦沿いの湖畔です。車を走らせて心惹かれた風景は写真に収め、ミュージックビデオや音楽作品のアイデアに活かしています。玉里地区の景色は、創作活動に欠かせない刺激となっています。

田川 制作をずっとしていると体調を崩すことがあったため、気分転換に散歩を日課に取り入れています。家の近所や、母と一緒に茨城空港の駐車場周辺を歩くことで、新鮮な空気を吸い込み、リフレッシュして

います。制作においては「誰が使うか」「誰が表現するか」という視点を常に持ち、歌い手の個性や教材を使う人の気持ちを想像することで、より良い作品が生まれると信じています。

立原 一緒に仕事をしている妻と、リビングでテレビを見ているときも「このCMいいね」「このトレンドあるよね」など、まるで息をするように映像の話をしています。私のインスピレーションの源は、小美玉市の風景です。特に美しい桜並木が広がる「みの〜れ」や、実家の田んぼの風景がお気に入りです。父が丹精込めて作った田んぼを見ると、尊敬の思いとともに「私も自分が選んだ仕事をやり抜こう」とやる気が湧くんです。

「好き」を仕事にする秘訣

浅野 依頼された仕事は「相手に喜んでいただく」ことだけを考え、無心で向き合うことを大切にしています。雑念をなくすことで、最高のパフォーマンスを発揮し、クライアントの喜びが自身のモチベーションとなります。

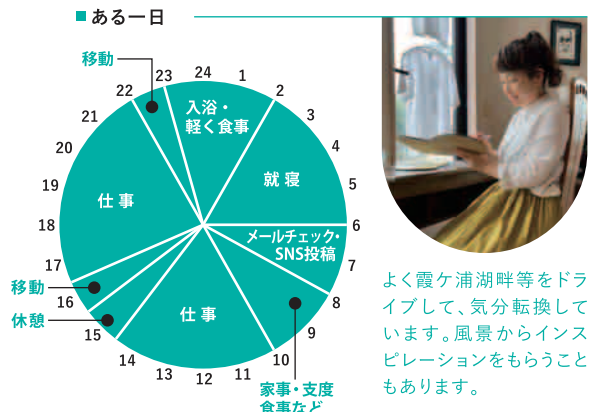
立原 クライアントに「良かった」と満足や感動をしてもらえることが、自分

アーティスト・
シンガーソングライター
浅野 壬袈

制作実績

- 県内外で数々の個展開催
- 1stアルバム「あいいろドロップス」発表
- 2ndアルバム「月あかりドリップ」発表 ほか

小美玉市在住。幼い頃から絵や歌に夢中になる。「有style」
として絵画活動を開始し、現在は「aristyle」として活動中。
2019年からは「あさのゆか」として音楽活動も行う。



よく霞ヶ浦湖畔等をドライブして、気分転換しています。風景からインスピレーションをもらうこともあります。

小美玉市出身。東京藝術大学作曲科卒業。在学中に安宅賞、アカンサス音楽賞を受賞。同大学助手も務めた。クラシックからポップスまで、幅広いジャンルの作編曲を手がけ、多岐にわたる音楽制作に携わっている。

一日制作していると身体もポロポロになるので、気分転換に散歩によく出かけています。リフレッシュできていいです。

の力を出し切れたと実感する瞬間です。その喜びが次への創作意欲となり、私のモチベーションを保つ最大の秘訣です。

田川 作った曲が実際に使われているのを客観的に見て、仕事に対する大きな喜びと楽しさを感じています。私の作品が多くの人の手によって生かされ、新たな感動を生み出しているのを目にすると「共に創る」喜びを感じることができ、それが私の創作活動の意欲につながります。

私にとっての「小美玉」らしさ

浅野 小美玉市がクリエイターに光を当て、積極的に支援してくれることに日々感謝しています。他の地域ではなかなか見られないその素晴らしさを、活動を通して実感しています。

田川 小美玉市には3つの文化ホールがあり、それぞれに地域住民の支えやアイデアが大きく反映されていることに注目しています。住民の主体的な活動が、まちの特長を生み出していると感じています。

立原 2012年に制作した「みの〜れ
10歳記念ムービー」が、地域との深

いつなかりを感じた最初のきっかけでした。みの〜れに関わる多くの人々と共に作品を作り上げる中で、自分の得意なことで喜んでもらえたことが嬉しく、地域との共創から新たな道が開けたと思っています。

小美玉が育む未来のクリエイティブ
全員 小美玉市には「みの〜れ」をはじめ、創造的な活動を生み出す土壌が豊かに存在します。私たちは、この素晴らしい環境がさらに発展することを願っています。例えば、公共施設の空きスペースなどを有効活用し、子どもからお年寄りまで誰もが気軽に集える交流の場になること。そして、私たちクリエイターも含めて住民が作品を展示したり、演奏を発表したりすることができる場所になること。そうした「日常に溶け込む創造活動」が、まちに新たな活気をもたらすと信じています。これからも小美玉市が、住民とクリエイターが一体となって新しいまちを創造できる、特別な場所であり続けてほしいと願っています。

日常に彩りを加える創造的な活動が、
まちの活気につながる。

大学生が 住民主役の 文化ホール を体験

学生が職場で働く経験をする「インターンシップ」。
みの〜れに「地域活性化」「まちづくり人材育成」を学び
に来る学生が増えています。
※毎年、7月〜9月のイベントに合わせて募集予定

インターンを体験したイベントは…

01: OMITAMAまる市 夏のミニマルシェ
▶2025 7/27 (sun) in 四季文化館 みの〜れ

&

**02: 美野里中学校 演劇部
演劇発表会 夏公演**
▶2025 7/27 (sun) in 四季文化館 みの〜れ

心を動かされた卒業公演。
観客を魅了する表現力

中学生とは思えない演技力に驚きました。舞台上では堂々としていてかっこよく、舞台を降りるとかわいらしさがあり、そのギャップも印象的でした。照明や音楽も本格的で迫力があり、引き込まれました。

茨城大学生
大河原 百花

小美玉の「原石」たちが、
日本の「宝石」たちへ

みの〜れが住民の笑顔が集う場、コモンズになっていると感じました。人は、帰ってこられる場所があるから外の世界に冒険できる。みの〜れで知恵と勇気を得た「原石」たちが、さまざまな世界で輝く姿が楽しみです。

茨城大学生
川村 康晴

子どもへの思いがまちを
動かし、未来へつなぐ

まる市の「子どもたちのために、楽しさを未来へつなぐ」という考え方に強く惹かれました。住民主体で作りあげることが、人の輪を広げ、活気と温もりに満ちたまちづくりにつながっていると思いました。

茨城大学生
増田 夕奈

VOICE
03

茨城大学
西野 由希子 教授

今年も茨大生をあたたかく受け入れていただき、ありがとうございます！住民の笑顔があふれる「みの〜れ」での体験は、学生たちの目と心が開く機会となっています。今後も更なるつながりを創ってまいります。

まちのオススを発信
「TOWN JOURNAL OMITAMA」

大学生執筆の
記事はこちら



まちのニュースや話題をインターネット等で発信する市民メディアです。住民の有志メンバーにより結成された「タウンレポーター」が、小美玉市の楽しさをお届けしています。インターンシップ等で小美玉市に来る学生の皆さんも執筆してくれています。

VOICE
02

CULTURE REPORT

2025年6月29日 / みの〜れ
美野里中学校吹奏楽部 定期演奏会

家族やOBを迎え、同級生たちの応援を受け、満席の森のホールで開催された美野里中学校吹奏楽部定期演奏会。3部構成12曲もの演奏は一ヶ月後のコンテストを見据えたもので、3年生にとって引退前の大舞台。「緊張したけど楽しく演奏できました」と満足そうに感想をくれた部長の中園竣也さん。その眼差しには後輩たちへのエールがこめられているようでした。(遠藤 雅暉)



2025年7月20日 / アピオス
ちょこっと♡お昼にコンサート vol.02

team;ここからによる今年からの新企画で、ランチタイム過ぎから始まるこのコンサート。小川祇園祭の賑わいを抜けると、アピオスの小ホールは別世界。柴田晶子さんの口笛と松田光弘さんのピアノが織りなす美しいハーモニーに包まれていました。即興のディズニー演奏や人形劇で観客を和ませ、口笛のレッスンや協奏で観客と音楽の楽しさを共有。温かく、心躍るコンサートでした。(保田 孝雄)



2025年8月10日 / みの〜れ
みの〜れ演劇ワークショップ

7月からスタートした演劇ワークショップ。小学1年生から50歳代まで42名が参加し、その成果を披露しました。年齢別で4つに分かれて成果発表。参加者全員から舞台を楽しんでいる様子が見られ、6回のワークショップで創り上げたとは思えない、完成度の高さでした。参加者は「楽しかった」「またやりたい」と口々に話し、出演者も観客も充実した時間を過ごせたようでした。(川村 康晴)



2025年7月13日 / アピオス
けん玉パフォーマンスショー

大ホールステージ上に特設舞台を設営して、手の届きそうな距離で迫力満点のけん玉の演技を楽しむ公演でした。鮮やかなダンスと音楽が絶妙に融合したけん玉の妙技の数々に、観客の視線は釘付けに!観客も小学生からお年寄りまで幅広く、年齢を問わず楽しめる新しいけん玉のスタイルを発見できました。MCのトーゴさんの語り「何事も始めるのに遅すぎることはない」という言葉に感銘を受けました。(瀧澤 陸人)



2025年8月6日〜9日 / みの〜れ
はじめての楽器教室 -2025夏教室-

子どもたちに気軽に楽器に触れてもらい「音が出る」「合奏する」楽しさを体験する金管楽器教室(全4回)が開催され、小学3年生から6年生の12名が参加しました。講師は鴨志田真広さんと「ContiNEW」のメンバー。はじめての楽器に緊張していた参加者たちも、講師の和やかな雰囲気笑顔があふれ、次々に課題をクリア。最終日には合奏をして、他の楽器と音が混ざり合う楽しさを体験しました。(加藤 篤子)



2025年8月24日 / コスモス
演劇Crew Cosmo's 第19回公演 オズの魔法使い

2008年に開催された国民文化祭への参加をきっかけに結成された演劇Crew Cosmo'sが、盛大な拍手の中、2回の公演を成功裏に終えました。出演者を応援するために市外からも多くの家族連れが訪れ「楽しかった。また応援に来ます」と笑顔で話していました。終演後、出演者たちは「次の公演も精いっぱい稽古をして頑張りたい」と、にこやかにお客さんを見送りました。(福島 ヤヨビ)



INFORMATION

ヴァイオリン、舞、謡、小鼓で聞く桜川





■日時 10月25日(土)14:00
■会場 コスモス文化ホール
■金額 1,000円(全席自由)
■出演 久田 舜一郎、大島 輝久
喜多 直毅、大島 衣恵
安部田 保彦

ヴァイオリン、舞、謡、小鼓、ライブペインティングが散りゆく花の情趣に満ちた「桜川」の世界へと導きます。

■発売中 / 0299-26-9111 (コスモス)

茨城県高等学校総合文化祭 演劇祭





■日時 11月15日(土)9:30
11月16日(日)9:30
■会場 みの〜れ森のホール
■金額 無料

茨城県内の高校10校が一同に会する、年に一度の演劇の祭典!高校生たちがこの日のために稽古を重ねてきた、若さあふれるエネルギッシュな舞台をお届けします。

■お問い合わせ / 0299-48-4466 (みの〜れ)

いばらきビッグバンドジャズフェスティバル





■日時 12月7日(日)11:00
■会場 みの〜れ森のホール
■金額 無料(全席自由)
■整理券不要(当日先着順)

小学生から社会人まで、幅広い世代のビッグバンドが集結。熱気あふれるスウィングから心に沁みるバラードまで、ジャズの多彩な魅力を存分にお楽しみいただけます。

■お問い合わせ / 0299-48-4466 (みの〜れ)

東京室内管弦楽団 はじめてのオーケストラ





■日時 12月3日(水)11:00
■会場 みの〜れ森のホール
■金額 500円(市内在住)
800円(市外在住)
■全席指定

毎年、多くの市内中学生に感動を与えている東京室内管弦楽団による芸術鑑賞事業。より多くの方にオーケストラの素晴らしさを知ってもらうため、特別に一般公開!

■発売開始 10月26日(日)10:00〜 / 0299-48-4466 (みの〜れ)

2025年 10月〜12月のイベント pick up

※ このスケジュールは2025年8月28日に作成したものです。

開催日	イベント	開演	場所	主催・お問い合わせ先	料金
10月24日(金)〜10月26日(日)	小美玉市民文化祭(コスモス会場)	9:00〜15:00	コスモス	コスモス 0299-26-9111	無料
10月26日(日)	小美玉市文化講演会(瀧川 鯉斗)	13:30	コスモス文化ホール	小美玉市生涯学習課 0299-48-1111	無料 (要整理券)
11月1日(土)〜11月3日(月)	小美玉市民文化祭(みの〜れ会場)	9:00〜15:00	みの〜れ	みの〜れ 0299-48-4466	無料
11月1日(土)	アピオス誕生日記念イベント 「アピオス劇場探検&スタンプラリー」	10:00〜15:00	アピオス	アピオス 0299-58-0921	無料 (要事前申込み)
11月3日(月)	OMITAMA まる市	10:00〜16:00	みの〜れ屋外	みの〜れ 0299-48-4466	無料 (一部有料)
11月7日(金)〜11月9日(日)	小美玉市民文化祭(アピオス会場)	9:00〜15:00	アピオス	アピオス 0299-58-0921	無料
11月28日(金) 11月29日(土)	あきのぼどコレ BIRDぬり絵 コレクション&ワークショップ〜i am	10:30〜14:30	みの〜れ ハワイエ	みの〜れ 0299-48-4466	無料 (一部有料)
12月13日(土)	こもどーる クリスマスファミリーコンサート	14:00	コスモス文化ホール	コスモス 0299-26-9111	無料 (要整理券)
12月14日(日)	ちょこっと♡お昼にコンサートvol.04 「鈴木菜月・永田絵里子・川上茉莉絵」	13:00	アピオス小ホール	アピオス 0299-58-0921	1,000円